

2009しっぽの会収支決算報告

自2009年1月1日～12月31日

2009年いただいたご支援に心より感謝をこめて

しっぽの会の犬猫の飼い主になってくださった皆様、ご支援やご協力くださった皆様、去年は本当に有難うございました。おかげさまで、去年も順調に会を運営することができました。心からお礼申し上げます。特にこの一年間は、当会の活動がマスコミで紹介いただく機会に恵まれ、遠くは関西方面の方からもご支援いただきました。繰越金は大型犬舎の修復や、増築中の犬猫舎（ボランティアさんの休憩室、念願だった検疫室、高齢・病気や怪我で苦しんでいる子のための療養屋など）の建築費用として、環境整備のために使わせていただきます。また、今年もハンディのある子の引き取りも積極的に行い、遠くは小樽市・苫小牧保健所からも保護したいと思っています。一匹でも多くの犬猫の命が明日へ生きる希望が持てますよう、皆様からいただいたご支援金は大切に有効に使わせていただきます。

ただ、今後も環境整備費や医療費が多くかかりますので、引き続き、皆様からの温かいご支援をお待ち申し上げております。

しっぽの会代表 稲垣 真紀

ご寄付(収入)にたいして

昨年犬猫の保護数は172匹で、札幌市や周辺の市町・滝川保健所・むかわ町役場からも保護しました。また、186匹の犬猫が新しい飼い主様に譲渡されました。昨年と比べ譲渡数が減少していますが、これは一般市民の方が、保健所から引き取りする頭数が増えていることや、当会に来る子が病気や怪我などハンディを持つ子が増えたためです。当会に来る子たちは、一般市民の方が引き取りされなかった「ギリギリの命の子」である場合が多く、そのため病気や怪我の治療・療養で当会での滞在期間が長くなっています。収容動物の平均年齢も確実に上がっています。私たちが手を差し伸べなければ、当然この世にはいない子ですが、そういった状況をご理解してくださり、また、飼い主になってくださる方も多くいます。そういったことで足長基金の寄付金も、昨年と比べて大幅に増えています。また、カレンダーや写真集も予想を超える売上げでした。イベント収入は協賛してくださった方々が、売上からご寄付や募金などをしてくださいました。たくさんのご寄付は、皆様方からしっぽの会に託された「小さな命のレスキュー」と原点を忘れないよう、強く心に受け止めています。

支出の内容について

医療費は4月より早期避妊去勢手術・マイクロチップの装着を始めました。また、腫瘍、心臓疾患や内臓疾患のある子、皮膚病の子などの治療費が支出合計の約30%あります。医療費はかかりつけの動物病院のご理解があって、一部福祉料金となっていますが、今後も増え続けると思います。啓蒙広告宣伝費はイベントに関する諸費用、会報、啓蒙チラシの印刷費などです。カレンダー・写真集の売上げは確定申告を済ませ納税いたしました。残念ながら、経費を除いた全てを当会への寄付に充てることは出来ませんでした。納税の責任を果たすことができました。今後の課題となりました。また、人件費は昨年以上に収容犬猫に人手がかかり、人手不足を補うために8月以降にパートの方を増員しました。

2010年度の予定

一匹でも多くの命を救っていくためには、犬猫の世話をする人手が増えなければ手が行き届かなく、別な苦しみをもたらしてしまいます。今年は人件費に多めに予算を取りたいと思っています。また、交通費や通信費などの個人負担についても、実費の支払いをし、個人の自己負担なしに運営したいと思っています。環境整備については犬舎修復・犬猫舎増築工事を進め、雪が溶けたら当会で亡くなった子のために、ささやかな慰霊碑を建てる予定です。今年も背伸びせずに、真摯に着々と出来ることから確実に歩んでまいります。どうか今年も、昨年同様変らぬご支援の程どうぞ宜しくお願いいたします。